

課題対応取組報告書

【共通】

名称	住吉区東地域包括支援センター
提出日	令和7年6月6日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	重層的支援体制づくりに向けた、新たな活動団体とのつながりづくり	
地域ケア会議から 見えてきた課題	昨年度の3つの課題抽出型ケア会議において、 ・「予防的支援」を意識し、一般コミュニティを構築していく。 ・顔の見える関係性を構築、継続していく。 ・男性が気軽に活動できる場づくり ・住民が「自立支援・重度化防止」に関する意識を高める。 ・子どもに対する福祉教育の推進とヤングケアラーに対する相談支援体制の整備 等の5つの地域課題が抽出された。この地域課題を見ると、ポストコロナ社会において、新たな担い手の創出や元気で地域活動を行える人材発掘など、地域コミュニティの再構に向けた「集い」「人と人とのつながり」を継続的に取り組むことが求められている。	
対象	地域住民	
地域特性	公営住宅やマンション等の集合住宅が多く、OsakaMetro御堂筋線沿いであるため、利便性が高く、短期の入居者、単身者、高齢者が多く、自治会加入率の低さからもわかるように、地域住民同士の関わりが希薄である。 住吉区東地域(長居・刈田北・刈田)は住吉区12地域の中で、自治会加入率が30%前後と最も低い3地区である。(住吉区全体50.2%)また、集合住宅は80%～85%と区内で最も高い地域である。	
活動目標	種別・機関を超えたネットワーク・顔の見える関係づくり	
活動内容 (具体的取組)	1. 「集い」への参加、共催 高齢分野だけでなく、圏域内にある様々な集いや法人内の「ごちゃまぜ食堂」「地域講演会」などで、地域包括支援センターの情報発信等を行い、各関係機関との顔の見える関係づくりを行う。長居地域で行われている予防的支援の体制づくりを他地域でも行えるよう企画する。 2. 地域ケア会議などへの参画をアプローチする。 地域課題抽出型会議、活動報告会等での、種別の超えた参加者を招へいし、「私たちの街」をテーマに意見交換等を実施する。 3. 情報発信 つながり、出会い等をホームページ、SNS等で発信する。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	1. 地域で行われている百歳体操やふれあい喫茶、食事サービスなどに参加し、利用者への情報提供以外に、スタッフ、ボランティアとの関係づくりを行うことで介護予防的視点から介護問題の早期発見を目指すことができた。また、法人が推進している「地域福祉の結び目」として実施している「子ども食堂」「ごちゃまぜ食堂」「地域講演会」などは世代や生活状況などに関係なく幾多の人々が集う「場」を形成している。この緩やかな関係性の「場」が賑わっている。 2. ケアマネ情報交換会や地域課題抽出型会議、区内居宅介護支援者連絡会などを通じ種別を超えた意見交換会などにより、より良い関係が築かれている。同じテーマで種別を超えた者たちが対話する場が効果的である。 3. 金融機関や薬局、郵便局への周知活動は気になる方の早期発見の場所となっている。また、引き続き地域行事の参加協力や地域活動協議会への参画により、様々な情報発信の手段が広がっている。	
今後の課題	重層的支援体制は地域団体の活動への参加協力などで培う関係づくりと個別ケースを繋がるネットワークを活用し、医療福祉介護機関だけでなく、他業種(金融・不動産・教育機関・学生・商店等)及び専門家(法律・建築・職人など)と連携し、複合的課題に対応できる体制を構築していく必要がある。地域特性から、身寄りのない独居高齢者や、介護問題ではなく、生活支援を必要とする方が今後増えていく可能性がある。生活課題は(住宅問題・経済的課題・意思決定や金銭管理なども含む権利擁護問題)などが考えられるが、子育て世代、就学児童の不登校・ヤングケアラーなどの社会的課題について、行政、制度や新しい仕組みの整備を進めて頂く一方で、地域包括支援センターが持つネットワークを活かし、包摂的視点からのソーシャルワークを展開する。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和7年7月24日(木)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目(特性) についてのコメント * 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	・薬局は不特定多数の年代が利用するため、薬局へも参加協力を仰げば、早期発見の一助になると思うため、連携できればと思う。 ・さまざまな世代が集まる中で課題が見つかることもあるので、集まりは大切な機会だと思う。 ・ヤングケアラーは社会的課題になっており、学習会を開くなど取組をしていただけると関心も高く学べるよい機会になる。	